



NPO法人

# ボランティアインフォ

ひとりでも多くつなげたい、ボランティアしたい人と、ボランティアをしてほしい人を  
ひとりでも多くつなげたい、ボランティアしたい人と、ボランティアをしてほしい人を

## 第5期（2016年4月～2017年3月） Annual report

### CONTENTS

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1 ボランティアインフォについて  | 6 この1年の定量的な成果 |
| 2 ボランティア情報事業      | 7 この1年の定性的な成果 |
| 3 ボランティアコーディネート事業 | 8 メディア掲載      |
| 4 ボランティア促進・啓発事業   | 9 最後に         |
| 5 その他の活動/助成金      |               |

NO  
VOLUNTEER,  
NO LIFE.

## ● ミッション

ボランティアを求める人とボランティアをつなげる

## ● 活動方針

- 1、ボランティアインフォは東日本大震災関連のボランティアニーズがゼロになるまで、期限を決めずに活動します。ボランティアを求める人がいる限り、私たちはボランティア情報の収集と発信をし続けます。
- 2、日本のボランティアをもっとカジュアルに
- 3、日本のボランティア人口を増やす
- 4、日本のボランティアの裾野を広げる
- 5、2020年の東京オリンピック・パラリンピックのボランティアをブームで終わらせない

## ● 事業内容

### information

ボランティアを求めている人と、  
ボランティアを情報でつなぎます。

### ボランティア情報事業

東日本大震災のボランティア情報の収集と配信に加え、震災関連以外のボランティア情報の収集及び配信を実施します。収集したボランティア情報はデータベースとしてAPIで配信しています。配信した情報はYahoo!ボランティアなどのサイトに同時に表示されます。

### coordination

企画段階からボランティア募集、  
現場でのコーディネーションまで実施します。

### ボランティアコーディネート事業

イベントなどでボランティア募集をする際、企画から募集、当日のコーディネートまで実施します。集まったボランティアのコミュニティ構築のお手伝いも実施します。

### diffuse

ボランティアをもっとカジュアルになるように、  
ボランティアするもっと人が増えるように。

### ボランティア促進・啓発事業

日本のボランティア人口を増やすやめに、またボランティア活動をもっとカジュアルにするための普及活動や啓発活動を行います。

## ● 運営体制

代表理事： 北村孝之  
理事： 及川多香子  
理事： 山田朱実  
監事： 村松淳司（東北大学教授）

副代表： 馬場隆介  
事務局長： 田屋由佳利

## ● 事業概要



ボランティア募集情報の収集と発信を通じて、ボランティアを求めている人とボランティアをつなぐ事業です。



### ● 東日本大震災のボランティア募集情報の収集

ボランティア募集情報の収集はwebを中心に随時行っています。また募集团体からの応募フォームを通じた投稿も随時募集しつつ、1度掲載した情報は定期的に更新されていないか確認を行い情報の鮮度を保っています。

### ● 東日本大震災のボランティア募集情報の発信

収集したボランティア情報をデータベースに集約し、APIにて配信することによってさまざまなサイトでボランティア情報が表示されます。

ボランティア情報が表示されるサイト： ボランティアインフォ  
Yahoo! ボランティア など

## ● 東日本大震災以外のボランティア情報

ボランティアインフォでは、東日本地震後に構築したボランティア情報の流通の仕組みやノウハウを活かして、東日本地震以外の災害発生時にもいち早くボランティア情報を流通させることで、ボランティアを求めている人のもとにボランティアをお繋ぎしています。

- 熊本地震： 2016年4月16日に発生。  
2017年度も月に1回程度情報発信・更新。
- 台風10号被害： 2016年8月30日に発生。  
2017年1月27日まで随時情報発信・更新。
- 鳥取地震： 2016年10月21日に発生。  
2017年1月27日まで随時情報発信・更新。



## ● ボランティア案内所

Webでボランティア情報を発信するのみでなく、フェスなどのイベントでボランティア情報の案内を行なっています。意識せず気軽にボランティア情報に触れていただける場として、積極的にブース出展を行なっています。



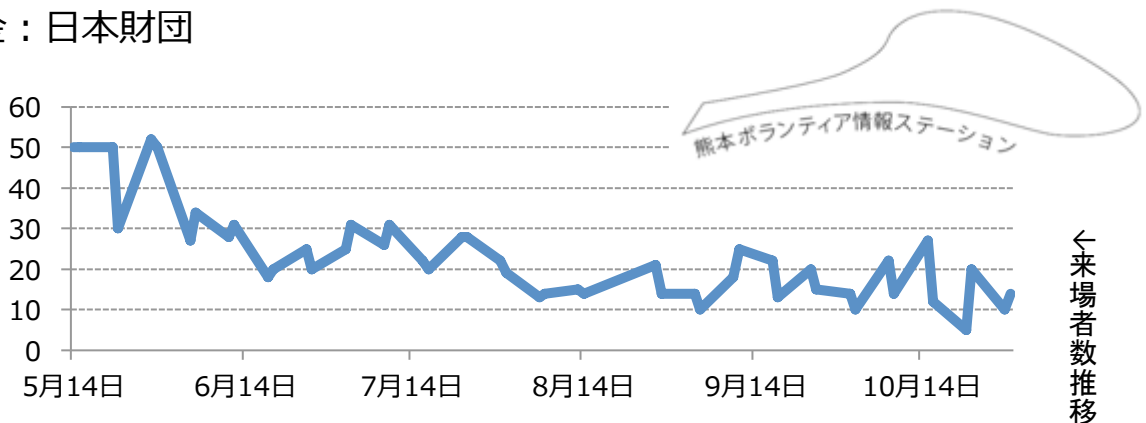
## ● 熊本ボランティア情報ステーション

平成28年熊本地震の発生をうけて、ゴールデンウィーク期間に各所にご協力いただき熊本駅前の案内所を開設させていただき、約1500人の方にボランティア活動先をご紹介しました。

その後も10月末まで延期させていただき、合計58日間で2,613人の方にボランティア情報をお伝えしました。

協力：JR熊本駅、熊本市災害ボランティアセンター、  
YAHOO!JAPAN、ひょうごボランティアプラザ

助成金：日本財団



## ● ap bank 東北ボランティアプログラム

人手が必要な被災地と、自分の時間を使って何か東北のために活動したいと思っている方をつなぐプログラムです。

ボランティア先の紹介を行うだけでなく、ボランティアに向かう交通費を補助し、できるだけ多くの気持ちある人を被災地につなげられるよう、支援を行います。

<http://apfj.apbank.jp/volunteers/>



● 事業概要

**coordination**

企画段階からボランティア募集、  
現場でのコーディネートまで実施します。

ボランティアを募集する団体の方ボランティアメニュー作りや、より一層ボランティアが集まりやすくなるように一緒に企画を行い、現場でのコーディネートまでを一貫して行う事業です。これまでの活動の中で蓄

積したボランティア活動におけるノウハウを活かして、ボランティア活動する場を創造することで、ボランティア人口の増加を目指します。

● 事業沿革

2012年に宮城県みちのく湖畔公園で開催された「AIR JAM 2012 in東北」で初めてボランティアコーディネートを実施。



2013年度からは宮城県を中心に復興支援イベントから商業イベントまで幅広くコーディネートを展開し、以降東北をメインに全国的に音楽イベントやスポーツ現場でのボランティアコーディネートを実施しています。

	イベント数	ボランティア数
2012年	2回	316人
2013年	10回	608人
2014年	21回	1,715人
2015年	28回	2,118人
2016年	31回	2,284人



- コーディネート実績

- 被災地支援イベント

Peace On Earth 2016 (128人)、松島パークフェス (10人)、  
GAMA ROCK (30人)、PARKROCK ISHINOMAKI、  
気仙沼サンマフェスティバル (224人)

- 音楽イベント

Earth Day 東北 2016 (32人)、ARABAKI ROCK FEST.16 (211人)、  
CHUMS CAMP (8人)、TINY GARDEN FESTIVAL (105人)、  
Reborn Art Festival 2016 (228人)、オハラブレイク'16夏 (75人)、  
定禅寺ストリートジャズフェスティバル (33人)、伊達祭 (24人)、  
龍岩祭、AIR JAM 2016 (103人)



- スポーツイベント

Color Me Rad 大阪 (25人)、宮城 (45人)、福岡 (29人)、水戸 (86人)、  
北海道 (47人)、静岡 (33人)、東京 (66人)、  
京都 (-)、愛知 (14人)、福井 (19人)、広島 (4人)、  
仙台国際ハーフマラソン関連イベント (23人)、ツール・ド・東北 (600人)

- その他

GOOUT CAMP猪苗代 (45人)、Redbull Air Race 2016、  
真の肉王決定戦 - 仙台 N-1 GRAND PRIX - (37人)



## ● ボランティア教育

昨年度に引き続き、宮城県多賀城高等学校において、教育機関における既存のボランティア体験を超えたボランティアプログラムを実施しました。

### ・ ボランティア教育事業とは？

学生自身がボランティア活動を通して『地域課題』を発見し、情報発信や周囲の巻き込みを行いつつ、「ボランティア」という手法を使って主体的に地域課題の解決を目指す教育プログラムです（下記6STEP）。

- STEP1** いくつかのボランティア募集情報の中から興味あるものに参加する
- STEP2** ボランティア活動の感想を共有する（ワークショップ形式）
- STEP3** 自身の周りにある社会課題を見つける（ワークショップ形式）
- STEP4** 発見した課題の解決方法を考え、仲間を集める（ボランティア募集）
- STEP5** 周囲を巻き込み一緒に課題を解決する（ボランティア活動）
- STEP6** フィードバック（ワークショップ形式、発表会）

- ・ 実施期間：2016年4月－2017年3月
- ・ 実施校：宮城県多賀城高等学校（授業）
- ・ ボランティア体験先：仙台市・多賀城市近郊で活動する7団体
- ・ 連携団体：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンターほか
- ・ 参加者数：9名



### ・ 課題解決アクション（高校生考案）

#### (1) まち歩きチーム（生徒：4名）

概要：多賀城市の見所・魅力を再発見し伝えていく（被災地や防災都市としての側面も含めて）ために、津波伝承や東日本大震災での被災状況等を紹介する「まち歩き」マップを作成し、作成したマップ等を使用して実際に県外からの訪問者を案内しました。

#### (2) 清掃活動チーム（生徒：5名）

概要：ゴミ拾い活動、およびゴミ捨て禁止の啓発を通して、多賀城をcleanな町にするために、通学路のゴミ拾い、およびゴミの多い箇所を中心にポスターを掲示して、ゴミ捨て禁止を呼びかけました。



### ・ 資金調達の取り組み

ボランティア教育事業の資金調達力強化のため、子どもサポート基金から助成を受け、個人寄付の募集を開始しました。

<http://volunteerinfo.jp/education/hp/>

● ボランティアストーリー <http://story.volunteerinfo.jp/>

ボランティア活動を行っている方にインタビューをして、1人1人のボランティアストーリーをwebを中心に配信しています。

ボランティア活動に参加した動機や、活動をして良かったこと、参加した後で変わったことなどを聞き、ボランティアストーリーとして配信することで、少しでも多くの方に共感していただき、そして「自分でもできるかな」「ボランティア行ってみようかな」と思っていただけの人を増やしていきます。 サイトリリース：2013年11月11日



● 取材を受けた 白石さんの声 <http://story.volunteerinfo.jp/story030/>

インタビューを受けた感想としては、ボランティアや熊本、東北に対して思っていることを話したのですが、その記事を読んでくれたいろんな人から良かったよと話しかけられることがあり嬉しくなったのを覚えてます。

インタビューを受けた2016年は熊本地震が起こり、自分の中でも変化があった年で、そのタイミングで**当時の想いなどを文章として残せたことは良かった**です。

改めて読み返してみると、本音を語っているところもあり恥ずかしい箇所も多々ありますが、**数年後また読み返したとき、当時のことを思い出し、前に進むきっかけになれば幸いです。**



● 中高生スポーツボランティア育成講座

<http://sv.volunteerinfo.jp/>

2020年東京オリンピックにむけて、「スポーツコミッションせんだい」「SV2004」さんと中高生スポーツボランティア育成講座を実施しました。

● 中高生スポーツボランティア育成講座とは？

宮城県内の中高生を対象に、講座とベガルタ仙台や仙台89ERS、グランディ・21などの協力団体でのボランティア活動体験を通じて、スポーツボランティア経験者に育成してプログラムです。

- 募集期間：2016年4月1日～11月30日
- 活動体験期間：2016年6月～2017年1月
- 活動対象：宮城県内の高校生、中学生
- 研修日程：2015年5月22日（日）、7月24日（日）、9月18日（日）、10月15日（土）
- 研修場所：仙台市体育館2階研修室ほか
- 体験先：楽天イーグルス、ベガルタ仙台・レディース、大相撲、仙台89ERS、ベルフィーユ仙台、W杯バレーボール他
- 参加者数：60人
- 修了者数：29人



スポーツボランティアについては、育成講座のほかに、2017年4月より仙台市の助成を受けて「仙台スポーツボランティアプロジェクト」を立ち上げています。このプロジェクトは、「SV2004」さんと「仙台大学」さんとともに、情報発信や講習によるスキルアップを通して、仙台のスポーツボランティアをもっと活性化させることを目的としています。

その他の活動/助成金 (1/2)

● 登壇イベント

- 多賀城高校「ボランティア活動について」 (4/16)
- 熊本市市民活動支援センターあいぽー「Let's goボランティア!!」 (6/14)
- 国土交通省仙台西国道維持出張所『災害ボランティアに関するスキルアップ講座』 (7/21)
- STAND UP SUMMIT 2016「復興セッションテーブルファシリテート」 (8/9)



## ● 熊本地震支援活動

熊本地震発生をうけて、ボランティア募集情報の収集と発信、ボランティア案内所の運営以外に以下の活動も実施しました。

- **崇城大学ボランティアビレッジ**の運営サポート  
全国から来るボランティアのために安くで宿泊滞在できるボランティアの活動拠点をチーム熊本と共同で立ち上げ、運営のサポートを実施しました。  
10月に閉所するまで約2,500人のボランティアが利用しました。
- 熊本地震復興支援フェスティバル「**GAMADAS 00**」の共同開催  
6月16日、熊本地震の本震から2ヶ月の日に崇城大学ボランティアビレッジにて、LOVE FOR NIPPONとチーム熊本とボランティアインフォで「GAMADAS 00」という復興支援イベントを開催しました。
- **福岡市災害ボランティアバス**のコーディネートを実施  
ゴールデンウィーク終了とともにボランティアの数が減少したことをきっかけに福岡市に提案し、2回コーディネートを実施しました。  
福岡を出発したバスの車内でボラセンでのレクチャーを実施し現地に着いてすぐに動き出せるのが特徴で、現地ボラセンの負担を減らしつつ、限りあるボランティア活動時間を最大化させることができました。

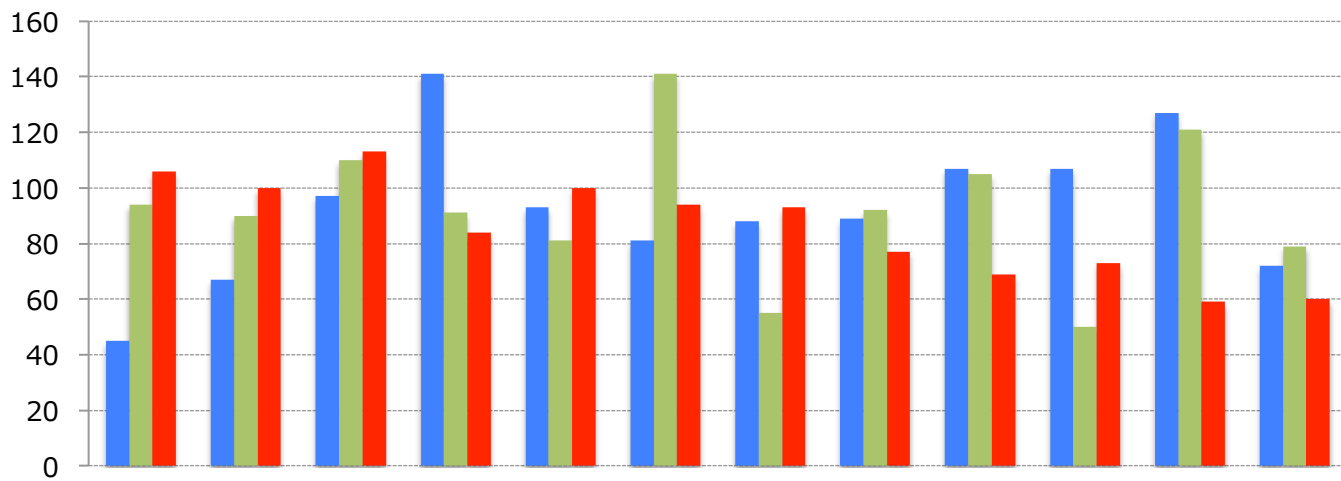


## ● 助成金

- **東日本大震災復興支援財団「子どもサポート基金」**  
多賀城高校で実施しているボランティア教育プログラムの資金調達の仕組みづくりのために活用させていただきました。
- **日本財団「平成28年熊本地震災害に関わる支援活動助成」**  
熊本地震関連のボランティア募集情報の収集発信や、熊本ボランティア情報ステーションの運営に活用させていただきました。
- **復興庁「新しい東北連携セミナー制度」**  
毎年3月11日に日比谷公園で開催している「311 未来へのつどい Peace On Earth」で、東北の今を伝えるトークステージを実施し、東北からのゲストスピーカーの方への交通費や謝礼の支給に活用させていただきました。

## ● ボランティア情報事業

- ・ ボランティア情報掲載数 : **1,028件** (平均86件/月)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2014/15	45	67	97	141	93	81	88	89	107	107	127	72
2015/16	94	90	110	91	81	141	55	92	105	50	121	79
2016/17	106	100	113	84	100	94	93	77	69	73	59	60

- ・ 東日本大震災以外のボランティア情報を入力したため、2015年度と変わらない掲載数となった
- ・ 掲載依頼数が2015年に比べ約100件減
- ・ 東日本大震災から5年が経過し活動が終了した団体が多数あった

## ・ 今までの延べサポート団体数

**694団体** (ボランティア募集のサポート有無に関わらず)

## ・ 東日本大震災以外のボランティア情報

**3箇所** : 熊本地震、台風10号被害、鳥取地震

## ・ ボランティア案内所

**7箇所** : 熊本ボランティア情報ステーション (熊本駅)  
 南阿蘇大復興祭 ~Come back ASO lovers~  
 防災とボランティアのつどいin熊本  
 earth garden 夏 (代々木公園)  
 冬 (代々木公園)  
 AIR JAM2016 (ヤフオク! ドーム)  
 Peace On Earth2017 (日比谷公園)



## ● ボランティア情報事業

### ・ ap bank東北ボランティアプログラム

－募集团体数：**7団体**

socialTOUR（宮城県東松島市）

三陸ひとつなぎ自然学校（岩手県釜石市）

キャンナス（宮城県石巻市）

日本カーシェアリング協会（宮城県石巻市）

ピースポートセンターいしのまき（宮城県東石巻市）

ともしびプロジェクト（宮城県気仙沼市）

東北ファミリア（宮城県南三陸町）

－ボランティア参加者数：**14人**（応募者数：23人）



## ● ボランティアコーディネート事業

・年間参加ボランティア人数：**2,284人**

・年間ボランティアコーディネートイベント数：**31箇所**

## ● ボランティア促進・啓発事業

・ボランティアストーリー 記事数：**3本**

・ボランティア教育 プログラム実施：**1箇所**

個人寄付額：**188,000円**

・中高生スポーツボランティア育成講座：**60名参加**



## ● その他

・ブログでの情報発信数：**138記事**（平均：11.5記事/月）

※ブログサービスを変更しました。

<http://volunteerinfo.hatenablog.com/archive>



ひとりでも多くつなげたい、ボランティアしたい人と、ボランティアをしてほしい人を

ひとりでも多くつなげたい、ボランティアしたい人と、ボランティアをしてほしい人を

## ● ボランティア情報事業

- 東日本大震災のボランティア情報の特集を組みました  
ゴールデンウィーク特集、夏休み特集、311周辺のイベント特集 など
- 熊本地震後に迅速に「熊本ボランティア情報ステーション」を開設しました  
熊本地震発生後、webでのボランティア募集情報発信を行い、GWからは熊本駅でボランティア募集情報の案内を開始し、10月末まで運営を実施しました。



## ● ボランティアコーディネート事業

- 全国でボランティアコーディネートを実施しました  
Color Me Radの全国での大会すべてのボランティアコーディネートを実施し、2012年ぶりに福岡で開催されたAIR JAM 2016でもコーディネートを実施。
- 商業イベントのコーディネートで収益を得られるようになりました  
昨年に続きボランティアインフォの収益の柱としてボランティアコーディネート事業は欠かせない存在になっています。  
徐々にではありますが収益率を意識しつつ効率化を行うことで、この事業をより一層事業の柱として確立していきます。
- 担当の分散ができるようになりました  
1人が全ての案件を担当するのではなく、メンバーがそれぞれに担当を持ち、最後まで責任を持って進めることができるようになってきました。  
これにより新規イベントのコーディネートも実施できるようになりました。



## ● ボランティア普及促進事業

- ・ ボランティア教育を授業として実施しました  
昨年度より多賀城高校で行っているボランティア教育プログラムを、「**総合的な学習の時間**」の一環で行いました。
- ・ ボランティア教育事業の資金調達力強化に取り組みました  
子どもサポート基金の助成のもと、多賀城高校でボランティア教育プログラムの資金調達力強化のために、**個人寄付**の仕組みづくりおよび実際に募集を開始しました。



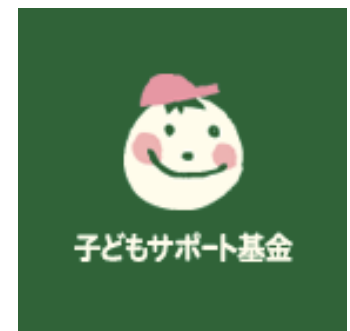
## ● その他

- ・ 大規模災害発生時に今までのノウハウを活かした多様な支援ができました  
熊本地震地震発生後にボランティア募集情報の収集発信だけではなく、東日本大震災で得たノウハウや繋がりを活かして、ボランティアビレッジの運営協力や、福岡からのボランティアバスの運行など、フェーズにあった多様な支援を実施することができました。
- ・ ボランティア教育事業の資金調達力強化に取り組みました  
子どもサポート基金の助成のもと、多賀城高校でボランティア教育プログラムの資金調達力強化のために、**個人寄付**の仕組みづくりおよび実際に募集を開始しました。

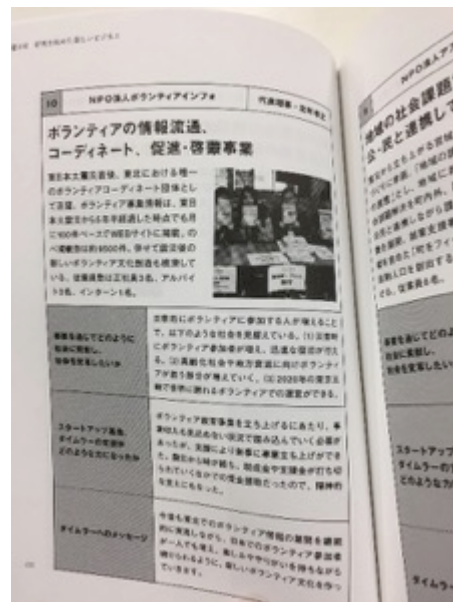


みんなで  
がんばろう  
日本 ●

公益財団法人  
東日本大震災復興支援財団



- ・ TBSラジオの「荻上チキ・Session-22」に出演（2016/4/22）
- ・ 熊本日日新聞に熊本ボランティア情報ステーションの記事が掲載（2016/5/8）
- ・ 朝日新聞に熊本ボランティア情報ステーションの記事が掲載（2016/5/17）
- ・ 熊本日日新聞に熊本ボランティア情報ステーションの記事が掲載（2016/11/4）
- ・ 著書『震災復興にかける、ダイムラーの行動力。』でボランティアインフォが紹介（2016/12/11）
- ・ Yahoo!ニュースの「【熊本地震連載】続く支援、地元の手で」にボランティアインフォのインタビューが掲載（2016/12/15）
- ・ TBCラジオの「COLORS」に電話出演（2017/3/15）



東日本大震災後の活動からはじまったボランティアインフォは多くの方に支えていただき、2012年4月にNPO法人になり、NPO法人ボランティアインフォとしての第5期の活動を終えることができました。この場をおかりして、お世話になっている皆さまに御礼申し上げます。

2016年は熊本地震が発生し、ボランティアインフォとしてボランティア情報の収集発信はもちろん、ボランティア案内所の開設や、ボランティアビレッジの運営サポート、福岡市からの災害ボラバスの運行など、今までのノウハウを活かした多様な支援を迅速に実施することができました。

一方で東北での被災地におけるボランティアの動きは少しずつ減少を続けており、熊本地震が発生したことで、今まで東北に通っていたボランティアが分散されるような結果にもなりました。

東北で復興支援をメインに活動している団体にとっては、人手がないことを前提として活動をどう長く継続していくかが問われている時期になっていることが実感できますが、そういった時期だからこそボランティアを必要としている方の声をボランティアインフォが丁寧に拡散して、ボランティアしたい人をつないでいきたいと思っております。

収益の柱となっているボランティアコーディネート事業では、この事業を始めるきっかけとなった「AIR JAM」の福岡開催におけるボランティアコーディネートを実施し、事業開始の頃よりもできることが増え、参加してくれるボランティアさん1人1人とも会話できる余裕が生まれました。

今後ご参加いただいた方とのつながりを大切にしつつ、もっとボランティアがカジュアルに、そしてボランティアする人が増えるように活動を行っていきますので、引き続きのご支援をどうぞよろしく願いいたします。

NO VOLUNTEER, NO LIFE. NPO法人ボランティアインフォ 代表理事  
北村 孝之

## ● 団体概要

正式名称	特定非営利活動法人ボランティアインフォ
設立	2011年5月15日（2012年4月2日NPO法人認可）
住所	宮城県仙台市青葉区本町 1 - 12 - 1 2GMビルディング2F
URL	<a href="http://volunteerinfo.jp">http://volunteerinfo.jp</a>
代表理事	北村孝之
理事	及川多香子
理事	山田朱実
監事	村松淳司
決算期	3月31日